

情報ネットワーク学演習 2

課題 1-3

秋下 耀介

情報ネットワーク学専攻

学籍番号 ; 33E16001

E-mail: y-akishita@ist.osaka-u.ac.jp

2016 年 10 月 11 日 (火)

1 問題

HelloTrema が起動したら次のメッセージを表示するようにしてみよう .

- HelloTrema started.

ただし、次の回答ではダメ (なぜダメか? も考察しよう)

```
class HelloTrema < Trema::Controller
  def start(_args)
    logger.info 'HelloTrema started.'
  end
  ...
end
```

2 解答

まず hello_world.rb において、起動時に実行されるメソッドを以下のように変更する .

```
def start(_args)
  selfClassName = self.class;
  logger.info "#{selfClassName} started."
end
```

起動時に呼ばれるこのメソッドにおいては、まず自身のクラス名を取得し変数に保存する . そして、出力としてその内容を # を用いて表示する . 上記のような変更を加えることによって、仮に今後の開発においてクラス名が変更されたとしても起動時のメソッドを変更する必要がなくなる . 大規模な開発においては、問題として与えられたような記述にしまうと、出力部分の変更を忘れてしまい、バグとしてその表示が残ってしまうという可能性が高くなる .

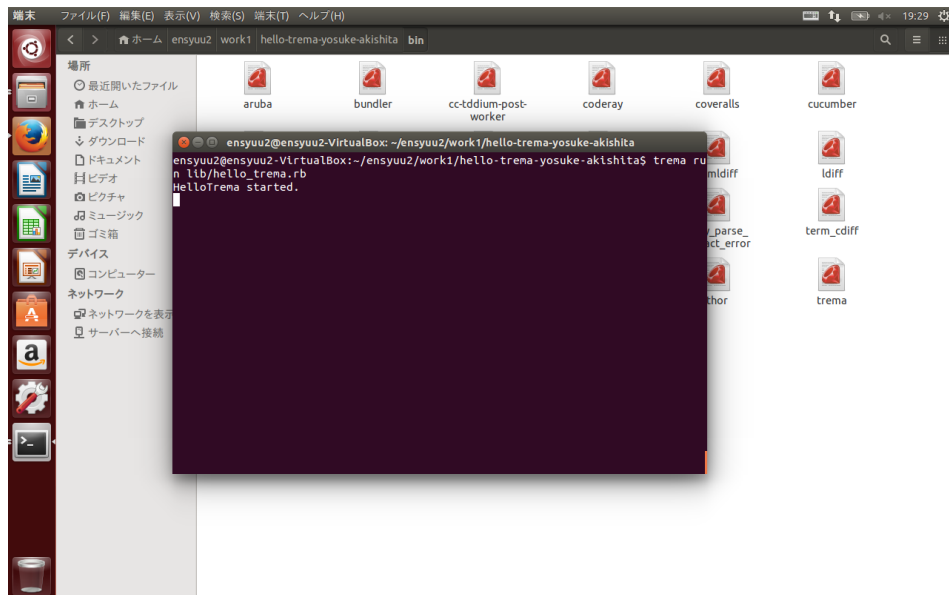


図 1 Hello_Trema の起動

図 1 においては，コマンド実行後に HelloTrema started. のメッセージが表示されていることから，起動後に期待される動作をしていることがわかる．

参考文献

- [1] 情報ネットワーク学演習 2 事前準備 <https://github.com/handai-trema/syllabus#事前準備>